

みずほCustomer Desk Report 2024/08/28号(As of 2024/08/27)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	144.88 AUD/USD
TKY 9:00AM	144.49	1.1164	161.30	1.3182	0.6773
SYD-NY High	145.16	1.1190	162.16	1.3269	0.6795
SYD-NY Low	143.92	1.1150	160.90	1.3180	0.6762
NY 5:00 PM	143.97	1.1184	161.02	1.3261	0.6793
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	41,250.50	9.98	日本2年債	0.3600%	0.0000%
NASDAQ	17,754.82	29.06	日本10年債	0.8800%	0.0000%
S&P	5,625.80	8.96	米国2年債	3.8981%	▲0.0387%
日経平均	38,288.62	178.40	米国5年債	3.6543%	▲0.0132%
TOPIX	2,680.80	19.39	米国10年債	3.8283%	0.0094%
シカゴ日経先物	38,295.00	230.00	独10年債	2.2780%	0.0305%
ロンドンFT	8,345.46	17.68	英10年債	3.9960%	0.0845%
DAX	18,681.81	64.79	豪10年債	3.9150%	0.0390%
ハンセン指数	17,874.67	75.94	USDJPY 1M Vol	12.60%	▲0.08%
上海総合	2,848.73	▲ 6.79	USDJPY 3M Vol	11.62%	▲0.05%
NY金	2,552.90	▲ 2.30	USDJPY 6M Vol	10.61%	0.00%
WTI	75.53	▲ 1.89	USDJPY 1M 25RR	▲2.24%	Yen Call Over
CRB指数	280.54	▲ 1.44	EURJPY 3M Vol	10.21%	0.03%
ドルインデックス	100.55	▲ 0.30	EURJPY 6M Vol	9.67%	▲0.06%

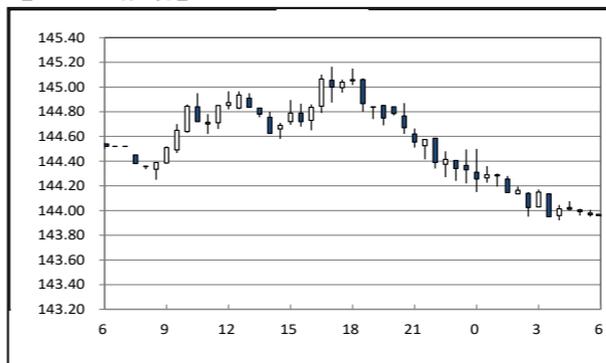
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月27日	15:00	独 GDP(前期比)・確報	2Q -0.1%	-0.1%
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	8月 103.3	100.8

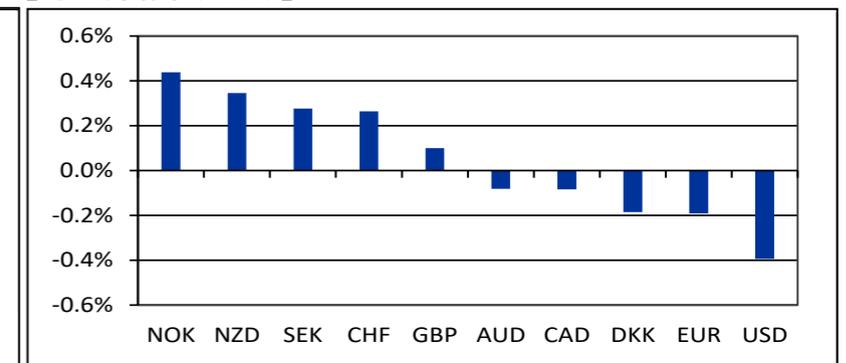
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月28日	10:30	豪 CPIトリム平均値(前年比)	7月 -	4.1%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	143.00-145.00	1.110-1.1250	160.00-162.00

【マーケット・インプレッション】

東京時間144円半ばでスタートしたドル円は、日経平均の堅調な推移を横目に底堅い展開となった。しかし海外時間には、米2年債入札の堅調な結果などを背景に米金利が低下したことでドル円は売り優勢となり、結局144円付近で引けた。

本日のドル円は方向感のない推移を予想する。日銀とFRBの金融政策の対照的なスタンスは意識されるものの、実際の利上げ・利下げのペースの判断については今後の材料を待つ状態となっており、ドル円は買いにも売りにも傾きにくい地合いであるものと思料する。本日は氷見野日銀副総裁の発言が予定されており、今後の金融政策に関するサプライズ的な内容に対する反応については警戒したい。

東京	東京時間のUSD/JPYは144.49レベルでオープン、直後に付けた144.47が東京安値に。仲値まで実需の買いが出る展開に上昇。仲値通過後はUSD/CNH主導でUSD/JPYは底堅く、東京高値である144.96まで上昇。ただ、実需筋からは輸出も出る状況で、売り買い拮抗。午後は輸出が大きく出て下押しする場面もあったが、ショートポジションの調整も継続的に出るので方向感定まらず。結局144.72レベルで欧州市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、144.72レベルでオープン。立ち上がり145.16まで上昇する場面もあったが値を消し若干円高の144.53レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3202レベルでオープン。英8月の小売り価格データが3年ぶりに前年比で下落とのヘッドラインもあったが、対ドルで年初来高値圏のポンドは堅調推移継続。2022年以來の1.32台となる1.3221レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は144円半ばでスタート。日経平均株価が徐々に上げ幅を拡大する動きに追随し、145.16まで上昇する場面もあったが、その後は実需の売り等の動き受け伸び悩み、一転反落し144.53レベルでNYオープン。午前中に発表された米8月コンファレンスボード消費者信頼感指数は予想を上回るも、特段ドル買いとはならず。その後は米金利の低下が重しとなり、144.20付近までじり安で推移。午後に発表された堅調な米2年債の入札結果を受け、米金利が一段と低下する動きを横目に、ドル円も143.92まで値を下げ、その後143.97レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.11台半ばでスタート。1.1170付近を挟んだ方向感乏しい推移が続き、1.1161レベルでNYオープン。午前中は特段材料が見当たらない中、1.1160近辺を中心とした値動き。午後は堅調な米2年債の入札結果等を受け、ドル売り地合いの中、1.1190まで上昇し、その後1.1184レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。